



# アパレル生理衛生論

B5版 1,600円(税込)  
(本体価格1,455円+税)

アパレル製品の適切な選択には、着用する人間の生理・心理の側面から判断することが求められる。本書は、アパレル製品を企画から生産、流通、消費の各段階で、人体とアパレル設計の関係に関する知識を正しく理解し、製品の適否を判断する力や、消費者に適正なアドバイスができるような応用力を習得することを目指している。

関連データや、実験方法、トピックスなどを節内に配置し、興味と理解が得られるように工夫している。また、重要なポイントについては演習問題を挿入し、理解度を確認できるようにしている。

衣料管理士科目：アパレル生理衛生論  
(協会科目名)

## 目次

### 第1章 アパレルと健康

### 第2章 アパレルによる気候適応

#### 2-1 体温とその調節

1. 体温と皮膚温
2. 産熱と放熱
3. 体温調節と寒暑感の関係
4. 行動性体温調節と自律性体温調節
5. 体温調節と環境温熱因子

#### 2-2 衣服による気候調節

1. 快適衣服気候
2. 布地を通しての熱の移動
3. 布地を通しての水分移動
4. 衣服の形態・着装と衣服内気候

#### 2-3 アパレル製品の保温性・放熱性

1. 保温力の単位と測定法
2. アパレル製品の蒸発熱抵抗の単位と測定法
3. 熱抵抗と蒸発熱抵抗を用いた着衣の快適気候域の推定

#### 2-4 アパレルによる気候適応障害の予防と対策

1. 熱中症の予防と対策
2. 低体温症・冷え性の予防と対策

### 第3章 アパレルの拘束性と運動機能性

#### 3-1 身体拘束の指標としての衣服圧

1. 衣服圧の発生要因
2. 衣服圧の発生と布地の伸特性及び身体曲率との関係
3. 衣服圧の表示単位
4. 衣服圧の測定方法とその特徴

#### 3-2 動作に伴う身体変形とアパレルの運動機能性

1. 動作時の身体変形
2. 動作に伴う着衣の変形と運動機能的なデザインの工夫

#### 3-3 衣服圧の人体影響とアパレルにおける有効利用

1. 衣服圧の人体影響
2. 体幹部衣服圧の害と有効利用
3. 腕脚部衣服圧の害と有効利用
4. 履物による足部への圧迫
5. 寝具からの圧迫

### 第4章 アパレルと皮膚の生理・衛生

#### 4-1 皮膚の構造と役割

1. 皮膚の構造と役割
2. 表皮
3. 真皮
4. 皮下組織
5. 汗腺
6. 脂腺
7. 毛と爪、立毛筋
8. 血管と神経
9. 皮膚常在菌

#### 4-2 下着・寝衣の役割と条件

1. 下着の種類と役割
2. 下着による汚れ吸収
3. 下着の汚れの測定法
4. 下着の汚れによる機能性劣化
5. 下着の抗菌・防臭・消臭
6. 肌着の肌触り

### 第5章 アパレルと健康をめぐる現代的課題

#### 5-1 アパレルによる障害と対策

1. 衣服そのものによる危害
2. 衣服による健康被害の回避対策

#### 5-2 衣服による環境からの危害の防止

#### 5-3 高齢社会におけるアパレル

1. 進む高齢社会と生活
2. 高齢者の生理的特徴
3. 高齢者の体型
4. 高齢者の心理とおしゃれ
5. 高齢者の生活と衣服

#### 索引